

南部支部役員 栃女高 酒徳 敦子
翔南高 金子 明子

平成26年度 栃高教研情報教育部会南部支部会の報告

1 期日 平成26年10月29日(水) 13:30～15:45

2 会場 栃木県立栃木女子高等学校 会議室

3 内容

(1) 会場校校長挨拶 (栃女高 校長 岡島 一浩)

(2) 情報教育部会挨拶
(足女高 松本 尚浩 (部会監事))



(3) 講演会 (13:40～14:45)

演題: 「ネットトラブルの現状と対策」

講師: 栃木県教育総合センター 研究調査部 指導主事 寺崎 義人先生

内容: 1 SNSの特性

2 生徒のSNS利用に関するトラブル

3 生徒の情報モラルを育むために

(4) 研究協議 (14:55～15:40)

出席された各校の先生方から、各校の授業の取り組みや悩みについて、話し合いをおこなった。情報モラルについての取り組みや課題などの話題が特に多く、LINEやツイッターなどでの生徒間のいじめやトラブルなどは、ほとんどの学校であり、情報モラル教育の重要性を再確認した。また、寺崎先生の講演会の中で、情報モラルの学習活動一例として、SNSの心得について、ドラマを通じて学ぶ映像コンテンツ(IPA作成)を実際に見た。それ以外にも教材として活用できるサイトをたくさん紹介していただき、授業で活用したいとの意見があった。また、情報モラルの講演会を行っている学校も多いなか、学校行事が多く実施できない学校もあった。教員側としては、ついダメダメ指導が多くなりがちであるが、生徒一人一人が自律した使い方ができるような取り組みや指導が大切である、と寺崎先生から話があり、参加した学校の中には、ラインは閉鎖された空間で、教員が内部を見ることができないため、かえってグループ内の生徒同士が注意する雰囲気やルール作りができるようになったという意見もあった。

評価についての議題もあがり、定期テストにおける試験の他に、実技のテストやプレゼンテーション、レポートも評価して成績をつけるところが多かった。

(5) 事務連絡 (来年度支部役員を選出、研究大会について、教材の募集)